

防災宿泊学習

教頭 角 玲子

10月半ばとなり、秋の終わりを感じられるようになってきました。

岩戸養護学校では、10月7日(金)・8日(土)の一泊二日で、1年生の防災宿泊学習を実施しました。修学旅行以外の宿泊は、実に3年ぶりとなります。

岩戸養護学校の防災宿泊は、災害時にかかる学習や体験を通して、防災や安全に対する意識を高めることをねらいとしており、肢体不自由教育部門(A部門)、知的障害教育部門(B部門)ともに、校内での宿泊となります。当日は季節先取りの冷たい雨の日となり、エアコンを暖房に切り替え、ジェットヒーターを準備して臨みました。

本来は起震車を体験する予定でしたが、雨のため残念ながら中止。代わりとして、A部門では緊急地震速報を合図にキャスターボード上で揺れを体験しました。皆、とても良い表情をしており、楽しみながら地震への意識を高めることができたのではないのでしょうか。B部門では、段ボールを使い、クラス対抗で避難所づくりをしました。広さや居心地の良さ、収納など、大事にしたいポイントを相談しながら作成し、各クラス、工夫が凝らされた作品に仕上がりました。

夕食は非常食体験。カセットコンロでお湯を沸かしてアルファ米を作り、カレーを食べました。夜は真っ暗な校内を探索し、消火器や非常口の位置を確認しました。入浴はなく、清拭をし、A部門は寝袋で、B部門は段ボールの上にマットを敷いて就寝となりました。

慣れない環境の中、ゆっくり体を休めるとはいかなかったと思いますが、翌日、体調を崩す生徒もおらず、楽しみながら元気に2日間の宿泊を終了することができました。今後も少しずつ、防災学習にかかる取組をすすめていきます。



夕食(カレー)



朝食(B部門)



就寝(A部門)



就寝(B部門)

避難所作品